

受講番号 18085 学校名 佐川中学校 氏名 山本 由紀

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 2年2組 生徒数 31名
 科目名 英語 単位数(授業時数) 3 時間 使用教科書名 New Horizon 2

クラスの様子・特徴

男女の人数差があり、おとなしい生徒が多い。授業態度は比較的真面目な生徒が多く、積極的にコミュニケーションを行うことができるが、英語に対する苦手意識が高く、特に読む・話す活動は苦手と感じる生徒が多い。

問題の確定

読む力・話す力をつけるため、基礎力の定着と同時に自信を持って英語に取り組むことができる。

予備調査

A 授業の観察

8割程度の生徒が意欲的に活動できている。単語テストに向けて単語の読みを積極的に行っている。読みのテストを行うことで互いに教え合うことができた。

B 生徒による授業評価

9割の生徒がDaily conversation(話す活動)は楽しいと感じている。読みのテストについては6割の生徒が苦手と感じている。

C 学力データ

【CRTの分析結果について】1年生の英語の内容についてはほぼ理解できている生徒が多いものの「基本的な話し方」の項目では低くなっている。ALTとの授業の中で積極的に生徒が話す場面を作っていくとともに読みの力を同時に伸ばす必要がある。

リサーチ・クエスト

生徒が自信を持って授業に参加し基礎的な英語力(特に読む力・話す力)をつけさせるためにはどうすればよい。

仮説・実践・検証

仮説1

授業の導入で現在行っている文法を使った会話(Daily conversation)を定期的に行えば、話すことにも自信がつき、文法の定着にもつながるだろう。

実践1

覚えたい表現を書いたシートを作成し、授業の導入で友だちやALTと会話を毎時間の導入で行った。ある程度会話がスムーズにできるようになった段階で、ディクテーションへの活動につなげた。定期テスト前には日本語から英語・英語から日本語へと書く活動にも発展させた。Daily conversationの中には文型とすでに学習している文法事項も盛り込んであるので、まとまりのある短い文が書けるように繰り返し行った。

検証1

スピーキングテストでは8割の生徒が日々のDaily conversationの内容を理解することができた。又、決まりきった内容だけでなく(笑顔やジェスチャーなどにも気を配る生徒も増えてきた。定期テストでは表現の能力の項目においても、1学期末は4割程度の正答率が6割と伸びてきた。友だちとのコミュニケーションから自分の考えや意志を伝えることができることで、文法の定着にも結びついたのではないかなと思う。

仮説2

定期的に単語テストを実施することで読む力の向上につながるだろう。

実践2

単語テストを2週間に1度行い、80点以上を合格とする。その内容について、授業の導入でBINGOを行い、単語を読み、書く練習を楽しみながら繰り返し行う。発音に自信がない単語は覚えにくく、定着しないため単語の読みを繰り返し十分に行った。又、単に英単語を書き写すだけでなく、生徒の段階に応じた日本語から英語に直しながらかき写すなど、少しずつ段階を上げていくように工夫をした。

検証2

授業の始めにBINGOを行うことで、スムーズに授業を始めることもつながった。たのしく単語を何回も書くことで、今まで全く単語が書けなかった生徒も2・3回は必ず書くようになってきた。テスト範囲の単語が読めない生徒も減ってきた。生徒のアンケートからも、「ビンゴで単語を楽しく覚えられる」「読める単語が増えてきた」「英単語テストの点が上がった」という意見が多かった。

仮説3

内容を理解したテキストで音読練習やシャドーイングを行えば読みの力が伸びるだろう。

実践3

新しい単元に入る前に和訳を先に渡したり、PCを使用し内容を把握できるようにした。様々なリーディングの方法(個人読み・ペア読み・read and look up・ジャンケンリーディング・シャドーイング)を、1時間の中に取り入れて1ページの内容を最低でも10回以上読むようにし、個人の読む力を伸ばすとともに、グループリーディング(班活動)なども取り入れ、お互いに教えあうことで学習意欲を高めた。

検証3

リーディングテストではほぼ全員が読むことができ、暗唱を行う生徒も前回はクラスで2名だったのが、Let's Readの長文であるにもかかわらず、今学期は10名暗唱できた。シャドーイングやread and look upを行うことでまとまりのある文をインプットすることができたと思う。又、教えあひながらリーディングの練習を行うことで、分からないことを気軽に友だちに言える雰囲気も作ることができた。

研究の成果

生徒のリーディングや語彙に対する学習意欲は高まった。リーディングに関しては2年生になり声を出し読むことに抵抗があったが、リーディングの手法を変えることで自然と大きな声で読めるようになった。教科書を全員がスラスラ読むという目標もほぼ達成できた。これは今後の学習において英語力の向上に大きな役割を果たすと思う。何度も繰り返し読むことで英語そのものの接触量が増え、英語を読むことへの抵抗感も少なくなってきた。又、仲間づくり(お互いが教え合う)も英語力向上に大きな役割を果たしていると感じた。

今後の授業改善の課題

今はとにかく声を出し、何度も英文を読む活動が中心になっているが、読むスピード・読解力についてはまだまだ不十分である。来年度は3年生ということもあり「英文を速く読む」活動へもつなげていきたい。入試の限られた時間内で長文を読むことができるよう、1分間に読める語数など読解力につなげる指導を工夫し、取り組んでいきたいと思う。

リサーチについての問合せ先:

職場電話 0889-22-1255 電子メール